

(持ち込み不可)

【設問】

(1) マーシャルプランについて、政策としての四つの目的に触れつつ説明せよ。

(2) 朝鮮半島の分断の契機とその固定化について、冷戦との関連に留意しながら説明せよ。

(講義で扱った、日本敗戦前後から朝鮮戦争までの時期を論述の対象とする。)

【解答の指針】

両設問とも、講義の内容を確認する基本的なものです。

(1)

講義で説明した通り、アメリカの国内経済政策、対外政策としてのドイツ占領政策、自由貿易体制確立への布石、欧州統合の試みの四つを中心として説明がなされることを期待する設問です。ソ連を排除するための政策だったとする回答もいくつかありましたが、こうした捉え方は授業中でも触れた通り妥当ではありません。またドイツ占領政策についての言及が抜けている解答もありましたが、対外政策として中心となる目的ですのでそれについての説明は必須です。

(2)

日本降伏に伴って米ソが設定した軍事境界線の由来や、当初の連合国による朝鮮半島の取り扱い方、戦後の朝鮮半島が置かれた内政事情などについて、その重層性についての説明が前半に展開されることが期待されます。

その上で朝鮮戦争について触れた上で、その展開のありようがどのように分断に影響したかについて説明することが必要です。いずれもどの部分に「冷戦」が作用し、どの部分に「冷戦」が作用しなかったかについて明確に説明することも必要です。(この点は授業で強調した点です。)

朝鮮戦争が勃発する前の段階までしか触れていない解答文がいくつかありましたが、設問にある「固定化」の説明のためには朝鮮戦争について触れることが必須です。